進路指導室より

校長　吉山耕一郎

入試制度の変化に加え、コロナ禍における様々な対応を求められた、大変な年であった令和二年度も、まもなく終わろうとしています。保護者の皆様には、進路指導部の活動に対して物心両面からご支援いただき、誠にありがとうございました。この紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。

年度末を迎えるに当たり、進路指導部から保護者の皆様、生徒の皆さんにお伝えしたいことを、学年別に述べさせていただきます。

三年生の保護者の皆様、そして生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業後は、職場はもちろん、大学や専門学校でも、多くのことを自己責任で行わなければならなくなります。高校までのように、担任や周囲の先生方が手厚く指導してくれることは、ほぼありません。手続きを知らなかった、忘れていたということにならないように、しっかりと情報を集め、早めに行動するようにしてください。これから進む進路は様々ですが、この唐津西高校で学んだこと、体験したことを忘れずに、より大きな社会で活躍されることを期待しています。臨機応変な対応が求められる中で、本当に素晴らしい頑張りを見せてくれました。自信を持って羽ばたいてください。

次に二年生ですが、迎える新年度は、長い人生の中における重大な選択と挑戦を迫られる年になります。進路目標についてご家庭で相談され、目標達成のための努力を少しでも早く始めることをお勧めします。進路指導部には、様々な学校や就職先の情報がありますので、お悩みの際は遠慮なくご相談ください。来年度は、今年度の変更点から見直される部分も多くあると思われますので、今後も新しい情報を集め続けることが大切です。こちらからも、こまめな情報提供を心がけていきたいと思います。

最後に一年生。新年度は俗に、「中だるみの学年」などと言われる二年生になります。しかし、逆にこの一年間を充実させることができれば、三年生になった時に目標に手が届きやすくなる、とも言えるのではないでしょうか。今年度の結果からも、より早く準備を始めた生徒の方が夢をつかんでいると言えます。もう一度生活状況や学習状況を振り返り、目標に向けてできるだけ早く動き出すことをお勧めします。ぜひご家庭でも、進路について相談する機会をお持ちください。

進路希望調査によりますと、一年生、二年生共に最も多いのが「四年制大学への進学」希望者です。我々職員も、生徒の皆さんの目標を達成するために、十分に支援をしてまいります。しかし、その目標を達成するためには、やはり学力が必要であり、学力を身につけるためには家庭学習の継続が必要です。そのためには、保護者の皆様のご協力が不可欠です。来年度も進路指導部の活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 合格者数（令和３年１月末現在）

【大　学】
国公立大　９名
佐賀大学　５名　帯広畜産大学　１名
兵庫県立大学　１名　山口県立大学　１名
北九州市立大学　１名
私立大　５０名
福岡大学　７名　西南学院大学　２名
中村学園大学　５名　福岡工業大学　５名
福岡国際医療福祉大学　１名　九州産業大学　６名
筑紫女学園大学　２名　純真学園大学　２名
久留米大学　３名　西九州大学　９名　など

【大学校】　１名　水産大学校　１名

【短　大】　１４名
中村学園大短期大学部　６名　福岡女子短大　２名
関西外国語大学短期大学部　１名　佐賀女子短大　２名　など

【専門学校】　３６名
好生館看護学院　１名　医療福祉専門学校緑生館　１名
麻生看護大学校　１名　福岡市医師会看護専門学校　２名
嬉野医療センター付属看護学校　１名
武雄看護リハビリテーション学校　３名　など

【公務員・就職】　８名
佐賀県庁　１名　唐津市役所　１名　福岡県警　２名
自衛官　１名　株式会社唐津プレシジョン　１名
唐津信用金庫　１名　昭和自動車株式会社　１名

2. 国公立大学受験予定者

【共通テスト】１０３名　受験（１月16日・１月17日）

【国公立大二次出願予定者】
前期試験　２１名
山口大学　１名　佐賀大学　４名　鹿児島大学　１名
宮崎大学　２名　琉球大学　２名　新見公立大学　１名
公立鳥取環境大学　３名　愛媛医療技術大学　１名
下関市立大学　１名　北九州市立大学　２名
長崎県立大学　１名　福岡県立大学　２名
中・後期試験　１９名
山口大学　２名　佐賀大学　２名　宮崎大学　５名
公立鳥取環境大学　２名　下関市立大学　４名
長崎県立大学　２名　福岡県立大学　２名

3. 1・2年生の現状（県下一斉模試の1500番以内の数）

	1年4月	1年8月	1年1月	2年8月	2年1月
1年生	12	10	19	—	—
2年生	8	18	15	18	31

「ハナコフェア」

唐津西高等学校は明治四十年（一九〇七年）の町立唐津女学校としての開校以来、今年で百十三年目を迎えました。その伝統の中で、本校では、昭和六年（一九三一年）八月一日、松浦川双水渡しでおぼれかけた二人の小学生を助けた後、自らは力尽きて水中に没した故「中尾ハナ」嬢（本校の前身である旧制唐津高等女学校四年）をたたえ、愛と勇気を本校の宝として二十年間後輩たちに語り継いでいます。

また、唐津市山本地区にも故「中尾ハナ」嬢の愛と勇気をたたえる石碑と観音像（二〇一四年に鬼塚小学校に移設）が現在はJR唐津線山本駅のすぐ近く、国道二〇三号沿いにあり、細長い自然石には『中尾ハナ女殉難記念碑』とあります。

（ハナ子地蔵：鬼塚小）

（ハナ子顕彰碑）

（ハナ子祭り祭壇：鬼塚小）

当時の鬼塚村の人々は身を挺して幼い命を救ったハナの行動に心打たれ、鬼塚小の教職員らを中心に広く募金を呼び掛け松浦川の川辺に昭和七年一月に建立しました。記念碑の横にはハナを思わせる温和な顔だちの小さな観音像。村人たちは〝ハナ子地蔵〟と呼び、命日の八月一日には昭和七年より〝ハナ子祭り〟として昭和五十年頃まで顕彰してきたが、いつのころからか（昭和五十七年？）地元鬼塚小で水難防止（プール開き）の祈願祭として受け継がれています。鬼塚小学校では、毎年プール開きの前日、花を持ち寄り「ハナ子祭り」を行っています。

本校では、第十五代校長の堤浩康先生が〝双水の渡し〟の事件とその後の「ハナ子祭り」を聞いたのをきっかけに唐津西高でも「先輩の勇気ある行動を語り継ぐあかしに」と像をつくる話が持ち上がりました。同窓会や保護者、生徒で二月から募金を呼び掛け、約百万円が集まり、像は同校の玄関横に建てられました。遺族から提供された写真をもとに美術教師の山崎先生がレリーフをつくり、「愛と勇気」の石板と共に高さ約一・六㍍、幅約五十㌢の一枚石に埋め込んだ顕彰記念碑を平成十二年（二〇〇〇年）五月に設置しました。

今年度は、十月十三日に西原さつき氏（トランスジェンダー、モデル、乙女塾代表）を講師として中尾ハナ嬢を顕彰し、命の大切さや勇気について理解を深める講話「ハナコフェア」を実施しました。西原さんは、「自分らしく生きていくこと」をテーマに自らの経験を語り、今を頑張る大切さを訴えられました。

ハナコフェア講演会

今後も「愛（優しい心）と勇気」を唐津西高の伝統に受け継いでいきたいと考えています。

挨拶運動

11月11日（水）・12日（木）、振興会役員・常任委員、職員、生徒会による挨拶運動が実施されました。天候に恵まれ多くの役員・常任委員（１日目８名・２日目16名）が参加され生徒と元気な挨拶が交わされました。

３年生激励会

12月25日（金）終業式終了後、３年生激励会が行われました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、役員・クラス代表・関係職員が応接室に集合し各教室にリモート配信という形式がとられました。会長「激励のことば」のあと、「紅白のけえらん」贈呈が行われ、各クラス代表が謝辞を述べ決意を新たにしました。

大学施設見学研修

十月十六日、教頭先生をはじめ学校職員、会員の皆様と一緒に大学施設見学研修に参加させて頂きました。今年度は、新型コロナウィルス感染拡大の影響で開催が危ぶまれましたが、福岡市にある福岡工業大学と中村学園大学を訪問しました。最初に訪れた福岡工業大学では、学長自らが私達を出迎えて頂き、また学生が利用しているコミュニティルームにて代表の学生二人が私達の為にプレゼンをして頂き、大学の特長や施設の説明、また就職状況や学生生活など体験に基づき、事細かく説明を受けました。その後に、大学の施設を案内してもらいましたが、先ず思ったのが大学の敷地がとても広かった事。それから、学内の実験設備等には最先端の機器が置いてあり、大学職員や派遣されている機器メーカーの技術者と共に各種の実験が出来ること。また、卒業後の就職率がずば抜けて高く、国立大学に引けを取らない実績には驚きました。今後、電子工学や機械工学の道を目指している西高生にとって、かなり魅力的な大学の一つではないでしょうか？それから、大学の目の前には鹿児島本線福工大前駅が有りますので、交通の利便性は抜群だと思いました。

次に、中村学園大学を訪れましたが、ここでは先ず栄養科学部の講義をガラス張りの教室外から見学出来ました。その後に、事務局職員の方から大学の概要や進路、資格取得状況等を説明して頂きました。その後に、唐津西高出身の在校生に大学での生活や授業内容などをとても分かり易くお話しして頂き、とても楽しい学生生活を過ごされているのだなと実感しました。また、その話の最中に西高出身の教育学部四年生からの電話報告で、佐賀県の教員採用試験に合格されたとの一報が入り、とても嬉しい気持ちになったと共に、唐津西高卒業生の頑張りに心打たれました。

今回の研修も、日帰りバスでの短いスケジュールではありましたが、先生方や会員の皆様と親睦を深めることができ、とても良かったと思いました。また、このコロナ禍の状況において、この様な大学施設見学研修を計画して頂きました学校関係者の方々にも、深くお礼申し上げます。来年度も実施出来たら、もちろん参加させて頂きます！

（振興会　副会長　川上　殉）

中村学園大学

福岡工業大学